

10月6日(日)には会場横の田んぼで、伊丹市の子どもたちが稲刈体験



**心も体もぼっかばか
秋のモーニング
カフェ**
10/6 日

ふるさと回想館(旧小田小学校)で「秋のモーニングカフェ」が開催されました。
早朝に約30人が足を運び、地元食材をふんだんに使った料理を囲んでおしゃべり。「いつもと違う顔ぶれで食べる朝食は格別」と笑みをこぼしていました。
この活動は、地元女性グループ「チームえん」が小田真木地区の活性化のため、ふるさと回想館を活用し、昨年4月から開催しています。



拳高らかに「長生きするぞ!」

敬老会
元気で長生きするぞ
9/16 月・祝

敬老の日に合わせて、これまでのご苦労に感謝し長寿をお祝いする「敬老会」を赤名農村環境改善センターで開催しました。
式典では、白寿・米寿・喜寿・金婚の各節目のお祝いを迎えた皆さんに記念品を贈呈。アトラクションでは、三次市の『三次童心太鼓』による創作太鼓が披露され、出演者の掛け声に合わせて、出席者の「長生きするぞ!」の声が会場に響きわたりました。

**かかし軍団がお出迎え
佐見かかしまつり**

国道54号沿いの佐見会館周辺で、佐見老人クラブが主催する「かかしまつり」が開催されました。
会場には、農作業服や着物、古着などを着た手づくりのかかし57体が並び、国道を通過する人の視線を集めていました。
この活動は、国道54号の交通量の減少や、地域の人口や子どもも少なくなってきたことから、少しでも地域の活性化になればと平成27年から始まり今年で5回目です。



人と人がつながる場所に



記念品を受け取る白寿代表の森通子さん(野萱)



創作太鼓「いのものけ録」を披露

この他今年度、百歳を迎えられる、木村ヨシ子さん(愛寿園、難波和夫さん(横路)、福田ヨシ子さん(琴引の里、舛田マサヲさん(あかぎの里)、藤原スメコさん(愛寿園)、中村芳美さん(北野下)、森島房則さん(塩谷下)に、内閣総理大臣からの祝状と銀杯が届けられました。

**銀山街道下赤名コースと、
瀬戸山城跡・武名ヶ平山を歩く
銀山街道ウォーキング**
10/6 日

町内の銀山街道と、瀬戸山城跡を訪ねる「銀山街道ウォーキング」が開催されました。
13回目を迎えたこの催しには、県内外から約100人が参加。旧赤名町民グラウンドをスタートし、長者原古墳や石次の古民家に立ち寄りながら約6.5kmを歩く下赤名コースと、瀬戸山城跡から武名ヶ平山までの新たに整備された道を歩く登山コースを堪能していました。



瀬戸山城本丸跡にて

10/6 日

**地域の暮らしを継続するために
いっしょに健康まつり**
10/5 土

保健福祉センターを会場に「いっしょに健康まつり」を開催しました。
8回目を迎える今回は、島根県立大学出雲キャンパスの学生や飯南高校生、地域住民が集い、飯南町での暮らしを継続するためにできることや町が抱える課題を語り合いました。この他、医療機器操作体験やスパーボールすくいなどの子ども向けの催しもあり、幅広い世代約70人で賑わいました。



島根県立大学出雲キャンパス タウンミーティングの様子

**地域の誇りを未来へつなぐ
しめ縄づくり体験活動**
9/30 月

大しめなわ創作館で、町内各小学校の3年生37人を対象に「しめ縄づくり体験活動」が開催されました。
児童たちは、出雲大社の大しめ縄が飯南町で制作されている由来などを聞いた後、撚り合わせやしめ縄検定に挑戦しました。
この活動は、地域の伝統に触れる機会を提供したいと町教育研究会が主催し、今年で3回目。児童たちが制作したしめ縄は、道の駅とんぼらに奉納・展示される予定です。



「せーのっ!」みんなの力で撚り合わせ



声援に笑顔で答える参加者たち

**中国山地でグルメを堪能
第6回道の駅
グルメライド**
9/21 土

三次市・庄原市・奥出雲町・雲南市・飯南町の2県5市町にまたがるコースにある6つの道の駅で、グルメを楽しみながらサイクリングする「道の駅グルメライドin中国山地」が開催されました。
全長124kmのコースに挑んだのは373人。町内では、頓原・赤来両道の駅で冷しワニラーメンや温かいスープなどが振る舞われました。
小雨が降り少し肌寒い中、参加者はスタッフや地域住民の声援に後押しされ、ゴールを目指していきました。